

マニラ国際空港での無料 Wi-Fi サービス提供開始

当社子会社が、マニラ国際空港第 1 ターミナルに、無線通信設備を設置



写真右上/右下：航空会社カウンター近くに設置された InfiniVAN,Inc.のデジタルサイネージ（Wi-Fi 設備が入っている）

写真左：MIAA のセキュリティサービス部副部長 ARNULFO B JUNIO 氏と握手をする IPS 代表取締役 宮下

当社子会社である InfiniVAN,Inc.は、2019 年 1 月 12 日から、マニラ国際空港公団（MIAA）が管理するマニラ国際空港 第 1 ターミナルに、Wi-Fi 設備を収納したデジタルサイネージの設置工事を開始し、同年 1 月 15 日に完了し、Wi-Fi サービスの試験運用をおこなっておりました。

本日 MIAA のセキュリティサービス部副部長 ARNULFO B JUNIO 氏立会いのもと、スピードテストを実施し、InfiniVAN,Inc.による Wi-Fi サービスが本運用に入りました。

2018 年 7 月 10 日のプレスリリースで既にお知らせしています通り、InfiniVAN,Inc.は、米国企業と提携し、MIAA が管理する各ターミナルにデジタルサイネージを設置し、大画面スクリーンで広告映像等を放映するほか、Wi-Fi 装置を収納して、ターミナルの広範囲で同社の Wi-Fi サービスを利用できるようにすることとし、準備をすすめておりました。今回、日本航空殿が利用している同第 1 ターミナルでの設置が完了いたしましたので、第 1 ターミナルで本日 2019 年 1 月 17 日より無料 Wi-Fi サービスを提供いたします。

この無料 Wi-Fi サービスにより、多くの利用者に、InfiniVAN,Inc.ならびに当社グループが、フィリピンでインターネット環境の改善を積極的に図っているという印象をもっていただくとともに、InfiniVAN,Inc.のブランドを認知させ、法人向けサービスの知名度を高めることを意図しております。

他のターミナルでも準備ができ次第、設置していく予定です。

当社グループでは、マニラ首都圏地域の法人は、InfiniVAN,Inc.がサービス提供し、個人のマーケットは、CATV 事業者がサービス提供するという役割分担を原則としております。これは固定ブロードバンドサービスが、一般家庭にラストワンマイルを敷設して、時間をかけて回収するモデルであることや、料金回収のリスクを考えると、地域の顧客を熟知しないと収益化が困難であり、地域に根付いていない事業者が直接サービスを提供することは容易ではないからです。

しかし Wi-Fi などの Wireless での提供が可能になると、回線敷設のコストがなくなり、基地局への投資が中心となると同時に、納期も短縮されるので、法人だけでなく個人向けサービスの提供も可能になる場合があると考えており、当社でも事業化の検討を行っております。

また地方の CATV 事業者は、富裕層向けに CATV を提供してきたという経緯から、中間層以下の CATV やブロードバンド需要を取り込めていないケースもあり、今後は、地域内でブロードバンドサービスでより多くの顧客を獲得するため、Wi-Fi 等の Wireless を採用した方がよい CATV 事業者もあります。

InfiniVAN,Inc.は、こうした CATV 事業者に対して、より広範なブロードバンド需要を取り込むための、Wi-Fi を中心とした Wireless 事業を提供できるパッケージを提案する準備を進めており、今回第 1 ターミナルに設置したものと同様のものを、提案していく予定です。

今後も当社グループのフィリピンでの知名度向上や Wireless サービスの拡大に向けた動きを進めてまいります。

注) InfiniVAN,Inc.について

2015 年に設立され、2016 年フィリピン共和国法 10898 号によりフィリピン国内で通信事業を営むことができようになった通信事業者。固定通信のほか、携帯通信サービスを提供するためのライセンスを有しております。

社名：株式会社アイ・ピー・エス

証券コード：4390

所在地：東京都中央区築地 4 丁目 1 番 1 号 東劇ビル 8 階

代表者：代表取締役 宮下 幸治

本件に関する問い合わせ窓口

IR 室 03-3549-7719 ir@ipsism.co.jp